

業績についてご報告します

損益の状況

(3行合算・山口銀行・もみじ銀行・北九州銀行)

(億円)

	3行合算		
	H24/9期	H25/9期	前年同期比
業務粗利益	689	554	△134
コア業務純益	196	158	△38
経常利益	200	250	49
中間純利益	137	163	25

国債等債券損益等のその他業務利益の減少があったものの、株式等関係損益の増加や与信費用の減少を主因として、経常利益は前年同期比49億60百万円増加して250億43百万円、中間純利益は前年同期比25億56百万円増加して163億52百万円となりました。

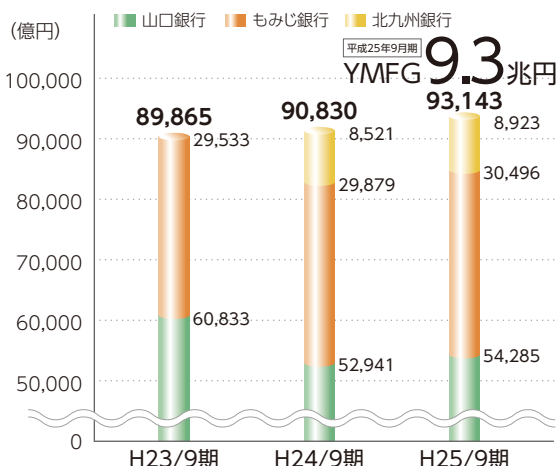
(億円)

	山口銀行			もみじ銀行			北九州銀行		
	H24/9期	H25/9期	前年同期比	H24/9期	H25/9期	前年同期比	H24/9期	H25/9期	前年同期比
業務粗利益	335	293	△41	300	206	△93	53	53	0
コア業務純益	80	99	19	107	48	△58	9	10	1
経常利益	93	162	69	103	78	△24	3	8	5
中間純利益	57	100	43	78	57	△20	2	4	2

総資産

(YMFG連結・山口銀行・もみじ銀行・北九州銀行)

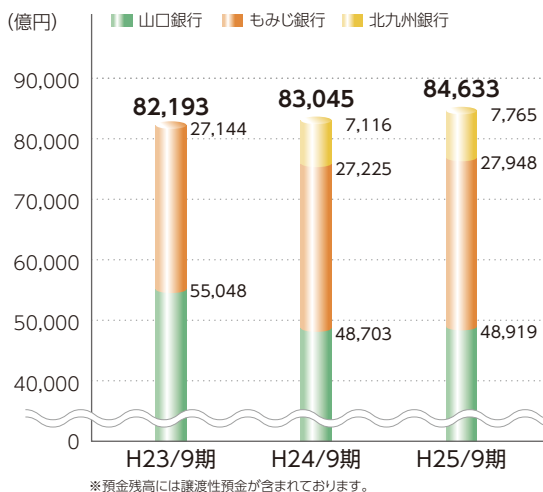
総資産は前年同期末比2,312億円増加して9兆3,143億円となりました。



預金

(3行合算)

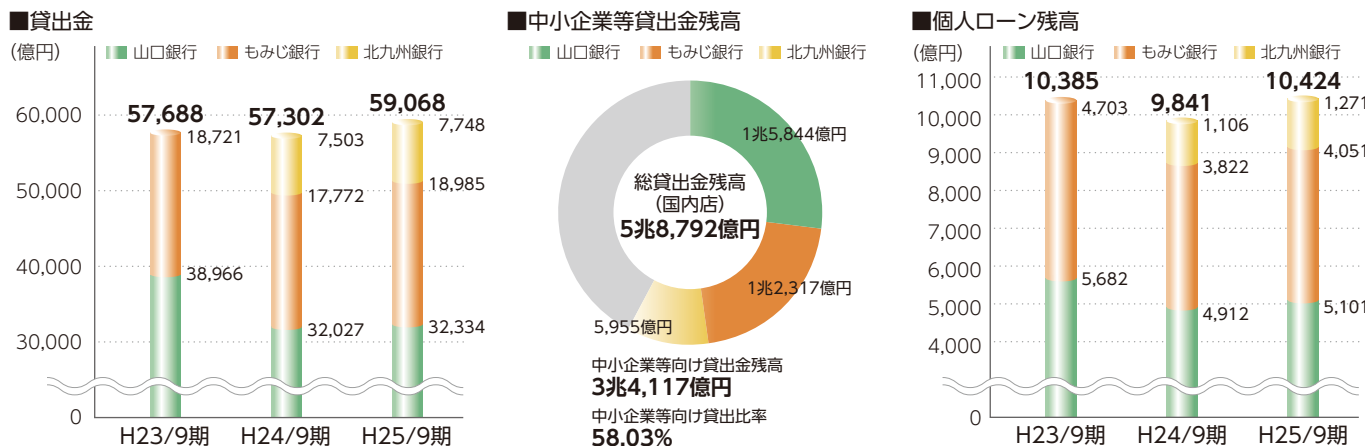
預金は、商品やサービスの充実とともに、地域に根ざした着実な営業展開を進めました結果、譲渡性預金を含む中間期末残高は8兆4,633億円となりました。



貸出金

(3行合算)

貸出金は、お取引先の信頼に応えるべく健全な資金需要に積極的姿勢で取組んだ結果、中間期末残高は5兆9,068億円となりました。

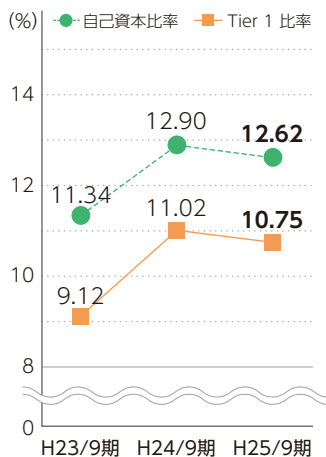


自己資本比率

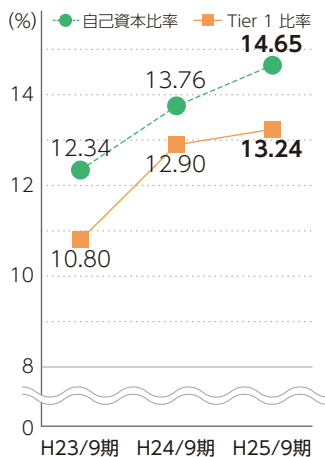
(YMFG連結・山口銀行・もみじ銀行・北九州銀行)

海外に営業拠点をもつ山口フィナンシャルグループおよび山口銀行は8%以上、もみじ銀行および北九州銀行は4%以上の確保が求められていますが、いずれも大きく上回っています。

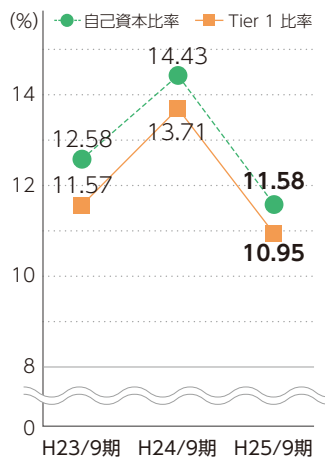
■YMFG連結(国際統一基準)



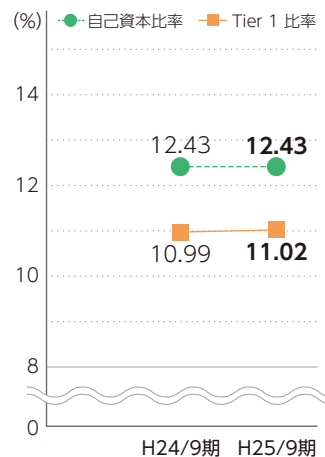
■山口銀行(国際統一基準)



■もみじ銀行(国内基準)



■北九州銀行(国内基準)



ポイント1

自己資本比率とは？

「自己資本」とは、文字どおり自分のお金のこと、返済する必要のないお金を意味します。例えば、多額の貸出金の回収ができなくなるというような、予想外の費用や損失が発生し、その損失を収益でカバーしきれないような場合に、この「自己資本」を取り崩して処理することになります。自己資本比率は、総資産のうち、貸出金などの資産(リスク・アセット)に対して、「自己資本」がどれくらいあるかを示す指標で、この水準が高いほど、銀行の健全性は高いと評価されます。

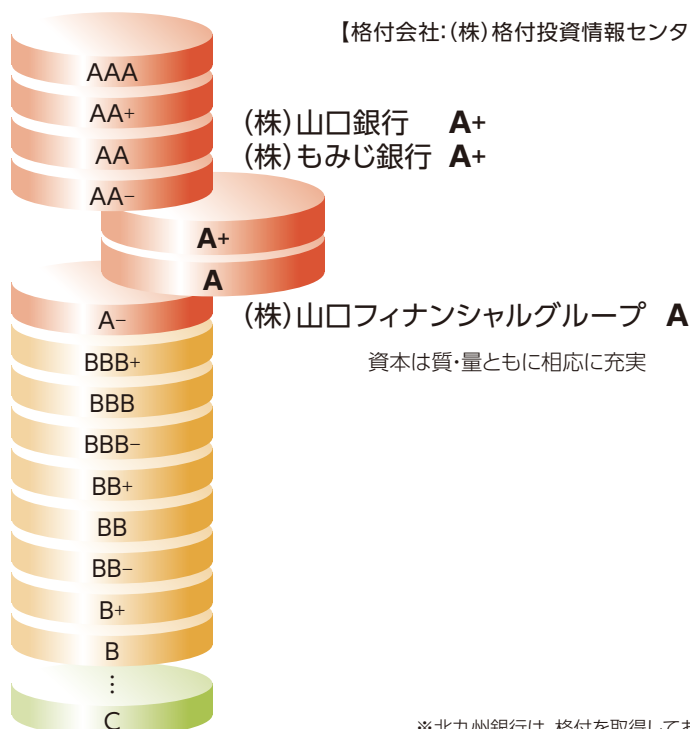
※YMFG連結及び山口銀行は、平成25年3月期からバーゼル3(国際統一基準)により自己資本比率を算出。もみじ銀行及び北九州銀行は、バーゼル2(国内基準)により算出。なお、YMFG連結及び山口銀行については、基準の変更により、前期との単純比較はできません。
 ※平成24年9月期から、YMFG連結、山口銀行及びもみじ銀行は、信用リスク・アセットの算出において、基礎的内部格付手法を採用。北九州銀行は、標準的手法により算出。

銀行の安全性を評価する「格付」

お客さまに安心して選んでいただけるためのひとつの目安となる、第三者の外部評価が「格付」です。山口銀行、もみじ銀行、北九州銀行を傘下に持つ山口フィナンシャルグループは、格付投資情報センター(R&I)から、信用度について高い評価をいただいています。

(格付の公表:平成25年6月28日)

【格付会社:(株)格付投資情報センター(R&I)】



※北九州銀行は、格付を取得していません。

ポイント2

格付とは？

格付機関が財務分析・業界分析などを行って、発行体の信用度を記号で評価することをいいます。投資家が投資を行う際などの参考データとなります。当社では「格付投資情報センター(R&I)」に依頼して格付を取得しています。